



ミロン

1993. 1. 17 No. 20

バングラデシュと手をつなぐ会

たくさんの方が
協力会員になって下さって
ありがとうございました。
時間はないけれど何か少しと思
われる方 協力会員になって下さい。
月に1口1000円です

バングラデシュと手をつなぐ会

〒814 福岡市早良区西新5-5-13

TEL 092(822)5795 代表 大木松子

送金先 郵便振替口座 福岡2-10442

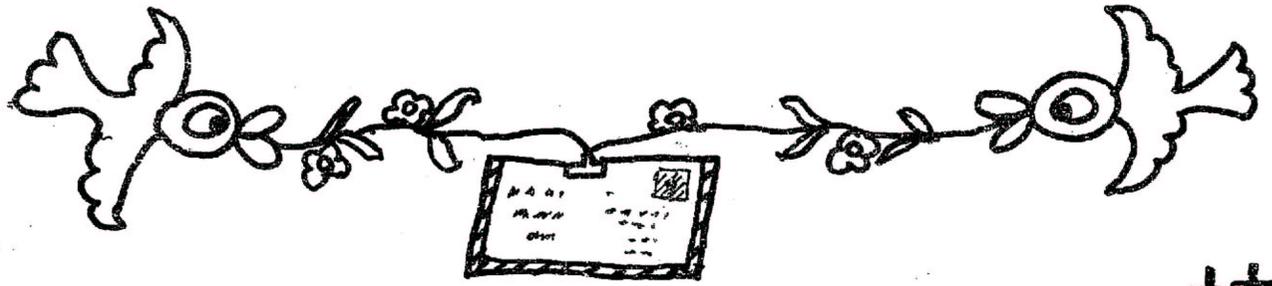
銀行振込 福岡シティ銀行西新町支店

口座番号 募金 472753

会費 1029480

いずれも名義は

「バングラデシュと手をつなぐ会」
です。



村からレポート2回 きました

はだしの医者15人 患者さん 823人

夏に訪問したとき約束した「はだしの医者」(ビレッジ・ドクター)のレポートが2回とどきました。11月後半が12月はじめに、12月前半が12月おわりに。集まっている「はだしの医者」は15人くらい。1ヶ月の間に診察した患者さんは823人。年齢、男女別に病気の種類にわけて人数が書きこんであります。発熱、消化性潰瘍、細菌性赤痢...などの順ですが、おなかの病気が多いようです。

ニノ坂さんから励ましと質問の手紙 村へ

この2回のレポートを読んでニノ坂さんは気がついたこと疑問に思ったことなど、そして何よりさつやくきちんとしたレポートをつくったことについて感謝と励ましのことを書いて1月6日村へ送りました。

1. 総核やハンセン氏病が少いがほんとは少いか診察に来ないのか。

2. 1ヶ月に赤ちゃんが13人生まれたと書いてあるが「死亡は書いていない。何人死んでいますか?」重症の人は遠くの病院へ運んでいるのか、あきらめているのか?。

3. 検査のための設備や器具のない村で、どうやって診断しているのか?。キコト村から返事が届くでしょう。

草の根通信に「手をつなぐ会」の記事 婦人え友

「バングアラデシユと手をつなぐ会」の記事が「草の根通信」(中津市)の作家松下さきさん(発行)の238号から241号まで「バングアラデシユと手をつなぐ」の題で連載。「婦人え友」(羽にも)と子さんが明治36年に創刊した雑誌(93年1月号)に「バングアラデシユの村に教育と医療を」の題で掲載されました。



ご協力ありがとうございました

- ☆ 面南学院 ハンドバルクワイヤ 65,000 ☆
- ☆ 福岡バプテスト教会 17,660 ☆
- ☆ CS教師 10,000 ☆
- ☆ 日本バプテスト 伊都キリスト教会 66,310 ☆
- ☆ 福岡友の会 幼児生活園 25,000 ☆

奨学金など年63万送っています

奨学金	大学生	2人~3人
	高校生	4人~5人
	中学生	20数人

職業訓練の先生	2人	} 給料
幼児学級の先生	1人	
シヨナニ・シヨNSTA 事務局長	1人	

No19にかいたのは不正確でした。おわびして正確な数字に訂正します。
大木

そのほかたくさんの方から基金を頂いています。

教育の部と医療の部の定例会
毎月 水3日 1.30 大木 さん 宅
いままでなかなかできなかった集まりができました。原則として水3日午後1時30分から定例会をします。都合によって水4日なることもあります。

「シヨナニ・シヨNSTA」 (さがす) (せしき) NGOとして認可されました

カラムティ村のシヨナニ・シヨNSTA(村の教育や医療を考えて決める委員会、日本語に訳すと「知識を探究する会」)が12月15日地方行政から認可されました。NGOというのは非政府組織。最終的にはバングアラデシユ政府のNGO・エローが許可します。そうすれば年に500タカぐらいの助成金が来ることとなります。地方行政に認可されるだけでもたいへんな手続や交渉が必要ですが、ラフマンさんの弟ザフルさんがシヨナニ・シヨNSTAの事務局長として走りまわったおかげです。

相談・話し合い・しごとの会

毎月 水2. 水3 水よう 午後 大木 さん 宅
「手をつなぐ会」の運営、財政、会計、シヨNSTAの発行、発送などみなでやりたいと思います。都合のつく時間に来て下さい。いい出会いがあります。